

第一幕：新たな挑戦の始まり（20分）

シーン：汐製菓会社の会議室

場面：汐製菓会社の本社。広い会議室に社員が集まり、次の新作のアイデア会議が行われている。中心に座るのは汐製菓の社長である汐（30代）。彼は笑顔を浮かべながら、社員たちに熱心に話しかけている。

汐：「みんな、今日も新しい挑戦をしよう！

ここで、世界に一番美味しいお菓子を作つてやろうじゃないか！」

社員：「社長、今回はどんな新作を考えているんですか？」

汐：「新作だと？新作という言葉が足りないな！今回は『金箔・白あんこ味』の水羊羹だ！」

社員たちは一瞬固まるが、すぐに興奮とともに反応する。

社員B：「金箔！？そんな贅沢なもの、作れるんですか？」

汐：「もちろんだ！日本の誇りである和菓子の美しさを、世界中の人々に届けるためにはこれぐらいの贅沢が必要だろう！」

汐の目は輝いており、その情熱に社員たちも巻き込まれていく。

社員C：「すごいですね、社長。白あんも高級感があって、外国の方にも受けそうですね。」

汐：「そうだろうか？これがジパングの新しい顔だ！」

そこに、汐の秘書である塩田（B）代、真面目で心配性（）が顔を出す。

塩田：「社長：本当に大丈夫でしょうか？金箔を使った商品なんて、予算や生産の面で問題がないか心配です。」

汐…「心配するな、塩田君。面白きことも無
き世を面白くするのが我々の使命だ！」

塩田は深いため息をつきながらも、仕方なく
その情熱に付き合う。

シーン②：製品開発と試作

場面…汐製菓の工場。多くの職人が試作の
ために忙しく働いている。金箔を散りばめた水
羊羹が次々と作られ、出来上がった製品を塩
田が確認している。汐は横でワクワクとした表
情を見せている。

汐…「塩田君、見てくれ！金箔が乗った水羊
羹、まさに宝石のようだろう！」

塩田…（少し驚きながら）「確かに…美しいで
すが、これを本当に市場に出せるのか、私は
まだ不安です。」

汐…「不安？それこそが冒険だ！この水羊羹、きつと世界中で大ヒットするんだ！」

塩田は渋い顔をしつつも、汐の情熱を止めることができない。試作品が並べられ、しばらくしてから汐が一つを手にとって食べる。

汐…「完璧だ！これは売れるぞ！」

塩田…「でも…金箔のせいで高価になりすぎませんか？」

汐…「大丈夫だ！これは特別な日に贈る最高のギフトだ。これを食べた人は、もう普通の羊羹には戻れない。」

塩田はため息をつくが、汐の決意に納得する。

シーン…海外市場を視野に入れた戦略会議

場面… 会議室。汐、塩田、マーケティングチームが集まる。今度の新商品を海外にどう展開するかを真剣に話し合っている。

汐…「今回の水羊羹は、日本だけでなく、海外市場にも打って出るんだ！ 欧米やアジア、世界中の人々に“煌羊羹”を届ける！」

マーケティング担当…「海外市場でも和菓子の人気はありますが、この金箔羊羹がどれだけ受け入れられるかは未知数です。」

塩田…「私も不安です。欧米の消費者は金箔を食べることに抵抗があるかもしれません。」

汐は自信満々に答える。

汐…「その心配は無用だ！ フランスでは高級食材として金を食べる文化があるし、アメリカでも豪華さが売れる時代だ。SNSでバズれば、一気に広がるはずだ！」

汐の情熱が溢れ出し、周囲はその熱意に引き込まれていく。

第二幕：海外市場への挑戦 (約30分)

シーン④ 国際食品展示会での衝突(約15分)

場面：大きな国際食品展示会の会場。汐製の菓子のブースが華やかに飾られ、煌羊羹(きらようかん)が中央に展示されている。金箔が輝く羊羹の周りには集まったバイヤーたちが興味深そうに見守っている。汐と塩田はそれぞれ隣でプレゼンをしている。

汐：「これが日本から世界に誇る新しい和菓子、『煌羊羹』だ！金箔を贅沢にあしらい、見た目も美しく、味わいも極上。贈り物としても、特別な瞬間を演出するための一品だ！」

汐が大きな声で説明していると、最初に声をかけてきたのはフランスのバイヤー、ジャン・ピエール。彼は贅沢なものが多いフランス市場で、さらに派手な金箔に懐疑的な表情を浮かべている。

ジャン・ピエール（フランス）：「金箔を使うのはいいとしても、この『煌羊羹』、フランス人の感覚に合うのか…？贅沢すぎて、普段食べるものではないでしょう。」

汐は少し驚くが、すぐに冷静に答える。

汐：「ジャン・ピエールさん、フランスでも金を食べる文化はありますよね。大切な贈り物や特別な日の食事に、金箔は一種のラグジュアリーを提供します。この羊羹も、特別な瞬間に食べてもらうためのものです。」

ジャン・ピエール：「特別な瞬間…なるほど。それなら贈答用としては受け入れられるかもしれない。しかし、どうしてフランスで売るつ

もりですか？ 私たちはもっと洗練されたものを求めます。」

汐はジャンⅡピエールを見据え、言葉が続ける。

汐…「フランスの洗練された食文化にぴったり合う新しい形の和菓子です。この『煌羊羹』は、見た目だけでなく、食べた瞬間の驚きと感動を与える。贈り物としても特別感があり、フランスの伝統的な文化ともマッチするはずです。」

ジャンⅡピエールはしばらく黙って試食し、徐々にその味わいに驚きの表情を浮かべる。

ジャンⅡピエール…（驚きつつ）「確かに、味わいは非常に繊細だ。金箔の風味が予想以上に豊かだ。しかし、やはり少し派手すぎるかもしれない。」

次に、アメリカのバイヤー、ジョンがやって来る。ジョンは豪華さやインパクト重視のアメリカ市場をよく理解しているが、金箔に対しては疑問を持っている。

ジョン（アメリカ）：「見た目はすごいが、アメリカ人が金箔を食べるなんて、想像もつかないな……。贅沢さだけでは消費者は動かないと思う。味も重要だ。」

汐はその言葉に笑顔を見せ、すかさずアメリカ市場のニーズに合わせた答えをする。

汐：「ジョンさん、アメリカの消費者が求めているのはインパクトです。SNSで映えるものこそ、今の時代に求められる。金箔が加わることで、ただのスイーツではなく、話題を呼ぶ商品になります。」

ジョン：（ちよつと笑いながら）「確かに、SNSで拡散すれば、すぐにバズりそうだ。それが狙いか？」

汐は自信を持って答える。

汐「その通りです！インスタ映えする見た目と、食べた瞬間の驚きが、消費者の心をつかむんです。」

ジヨンは試食し、満足げな表情を浮かべる。

ジヨン「味も悪くない、いや、むしろ想像以上だ。ちょっと派手かもしれないが、SNSで拡散すればアメリカでも大ヒット間違いなしだな。」

最後に登場するのは中国のバイヤー、王（ワン）。王は中国市場の文化や消費者の好みに精通しており、高級感を重視するが、金箔の価値について慎重だ。

王（中国）「確かに、金箔の贅沢さは魅力的ですが、私たち中国人はどこまで豪華を求めるかが問題です。贈り物としては非常に面白いですが、食べ物としては…」

汐は王に近づき、慎重に語りかける。

汐「王さん、中国でも贈り物文化はとても大切ですよ。『煌羊羹』は特別な日やお祝いにぴったりな一品です。金箔を使った贈り物は、受け取った人に感動を与えます。」

王は少し黙った後、試食をし、その味わいに驚く。

王「味は予想以上に繊細で、金箔の風味が優雅に広がる。確かに、これは贈り物としての価値がありそうだ。」

シーン⑤：商談成立！（約10分）

国際展示会でのやり取りを経て、汐は各国のバイヤーたちと次々と契約を結ぶことに成功。海外市場への展開が決まる。汐の情熱が実を結び、社員たちもその成果に驚き、喜びを分かち合う。

汐…「みんな、見てくれ！これが僕たちの新しい和菓子だ！フランス、アメリカ、中国、すべてで商談が成立した！」

塩田…「社長、ついに成功ですね…でも、これからが本番ですよ。生産ラインが追いつくかどうか心配です。」

汐はその言葉を軽く受け流し、未来への期待に胸を膨らませる。

汐…「大丈夫だ！我々には世界を変える力がある。さあ、工場をフル稼働させて、世界中にこの『煌羊羹』を届けよう！」

社員たちは歓声を上げ、汐の情熱に心を打たれる。映画は汐がさらに次なる挑戦を語るシーンへと繋がる。

第三幕…大ヒットと次の挑戦

(約30分)

シーン6: 世界中でバズる煌羊羹(約15分)

フランス、アメリカ、中国各地で煌羊羹がバズるシーン。フランスの高級デパートでは贈り物として大ヒット、アメリカではSNSで爆発的にシェアされ、中国では高級ギフトとして需要が高まる。

フランス客A: 「見て、この金の羊羹！贈り物にぴったり！」

アメリカ客B: 「これが金箔！？」

#GoldenDessert 最高…」

中国客A: 「これは素晴らしいギフトだ、私の親友に贈ろう。」

SNSで爆発的に広がり、注文が殺到する。

汐: 「これが新しい和菓子の潮流だ！」

塩田: 「社長、これで本当に大ヒットです

ね。」

シーン7: 社内の祝賀会と次なる目標

(約15分)

社内で祝賀会が開かれ、社員たちが成功を祝う。汐が次なる挑戦を語り、次の商品開発に向けて意気込む。

汐: 「みんな、ありがとう！次はもっとすごい商品を作るぞ！」

塩田: (微笑みながら) 「社長、次は何を考えているんですか？」

汐: 「次は、銀箔の抹茶羊羹だ！」

社員たちが拍手し、汐の言葉に期待が膨らむ。

エンディングロール:

煌羊羹が世界中で楽しむ人々の映像が流れ、SNSや華やかなイベントシーンが

映し出される。映画は煌羊羹の金箔が輝くシーンで幕を閉じる。

全体構成（80分作品）

第一幕：新たな挑戦の始まり（約20分）

- ・ シーン①：汐製菓の会議室で新商品の発表（5分）
- ・ シーン②：製品開発と試作（7分）
- ・ シーン③：海外市場を視野に入れた戦
略会議（8分）

第二幕：海外市場への挑戦（約30分）

- ・ シーン④：国際食品展示会での衝突
（15分）
- ・ シーン⑤：商談成立！（10分）

第三幕：大ヒットと次の挑戦（約30分）

- ・ シーン⑥: 世界中でバズる煌羊羹(15分)

- ・ シーン⑦: 社内の祝賀会と次なる目標(15分)

エンドロール(5分)